

ついでまつ COMMUNICATION

Vol.
32

築地松情報誌 2016年3月
発行／築地松景観保全対策推進協議会



今回の内容

- 松くい虫被害対策について
(被害発生のメカニズム・防除方法)
- お楽しみクロスワードパズル
- 協議会事務局からお知らせとお願い
- 平成27年度の主な事業概要

表紙写真

出雲平野の築地松景観
フォトコンテスト 入選作品
「風薫る日」 山田 勉 氏

出雲市の木に指定されている「クロマツ」、
古くから親しまれてきた松の文化を大切に守りましょう。

築地松景観保全対策推進協議会 <http://www.tsuijimatsu.com>

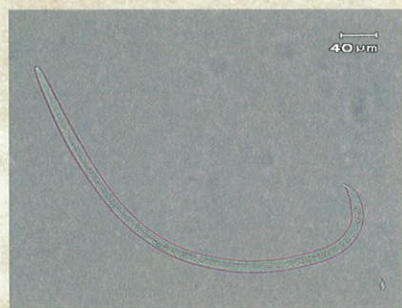
松くい虫被害対策について (被害発生のメカニズム・防除方法)

平成23年度に大発生した松くい虫被害は、その後の防除対策などにより、ここ最近では沈静化したかに見えます(助成金の請求があった築地松の伐倒本数は、平成24年度は932本でしたが、平成25年度は397本、平成26年度は135本と減少傾向が顕著です)。

しかし、全国的には天候などの環境変化により、突然に被害が拡大した事例も報道されています。そこで、改めて松くい虫被害対策についてお知らせしますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 松くい虫とは

「松くい虫」、「松枯れ」などと呼ばれるものは、松の伝染病です。その病原はマツノザイセンチュウ(センチュウ)で、マツノマダラカミキリを介して樹幹に侵入します。



■マツノザイセンチュウ (センチュウ)

長さ1mm足らずで肉眼では判別できない

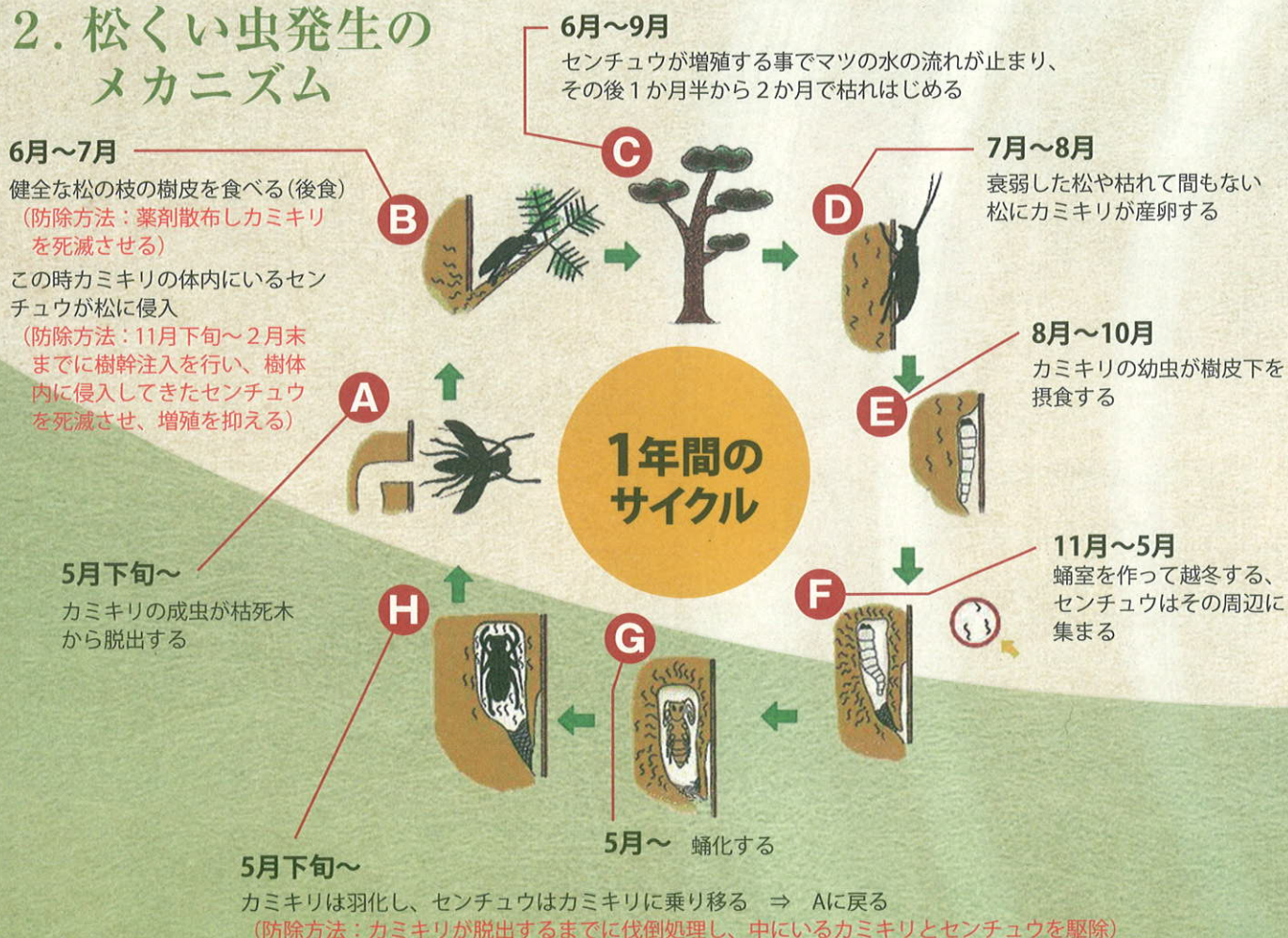
■マツノマダラカミキリ (カミキリ)

虫の体長は20~25mmで、暗赤褐色で白いまだら模様がある



写真提供：島根県中山間地域研究センター

2. 松くい虫発生のメカニズム



3. 松くい虫被害の特徴

- (1) 多くが8月～9月に枯れ始め、1～2ヶ月で枯死する。
- (2) 木全体が枯死する(まれに一部の枝のみが枯死することもある)。
- (3) 感染した松は、枝先を切っても切り口からヤニが出ない。
- (4) 夏季、高温少雨の年に被害が出やすい。



4. 松くい虫の防除方法

松くい虫は伝染病であることから、被害の連鎖を断ち切ることが必要です。被害を拡大させないためには、松の健康状態をこまめにチェックするとともに、薬剤樹幹注入などの「予防」と、松が枯れたときの速やかな「伐倒駆除」を行うことが重要です。

● 予防方法

築地松など山林以外で実施する個別の松くい虫予防には、数年間にわたり効果が持続する薬剤樹幹注入が最も有効と言われています。本協議会が樹幹注入実施者を対象に実施した調査(平成26年度)では、防除率約96%の結果でした。

実施時期は11月下旬～2月です。薬剤によって効果の持続期間が異なりますので、詳しくは専門業者または出雲地区森林組合内の樹医センターへご相談ください。

また、毎年5月～6月には殺虫剤を散布(地上散布)することで、マツノマダラカミキリが殺虫剤のかかった枝の樹皮を食べて死に、感染を防ぐことができます。

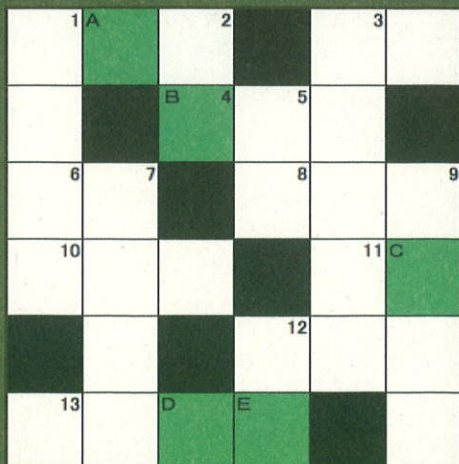


写真提供：島根県中山間地域研究センター

● 伐倒駆除

被害にあった松はなるべく早期に伐倒することが大切です。伐倒後の松は焼却または破砕等して、翌年の被害発生を抑える措置をとってください。

お楽しみクロスワードパズル



クロスワードパズルを解いて、プレゼントに応募してください。

正解者の中から抽選で20名に図書カードをプレゼントします。

A～Eのマスに入る文字を並べてできる出雲地方にゆかりのある言葉は何でしょう？

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募方法

官製ハガキに①クロスワードの解答、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥本誌に関するご意見ご感想を明記のうえ、ポストへ投函してください。

応募締切

平成28年(2016)6月30日(木) 必着

当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

タテのカギ

1. 旧暦の10月(神無月)を表す出雲地方の言い方。〇〇〇〇月
2. 自分の兄弟・姉妹の生んだ男の子、〇〇⇄姪(めい)
3. 4～5年に一度行われる築地松の剪定作業
5. 70歳のこと
7. 水中で音楽に合わせて泳ぎ美しさを表現する競技。〇〇〇〇ナイスドスイミング
9. 気持ちのしっかりしている様子

ヨコのカギ

1. サザエさんの登場人物、磯野家の息子
3. トルネード投法で有名な元メジャーリーガー、〇〇英雄
4. 考え、おもわく
6. フランスの思想家パスカルの言葉、人間は考える〇〇である
8. 蒸気の噴出によって音を出す笛、機関車や船などに装備
10. アイススケートやアイスホッケーをする氷上の競技場
11. まちがいの文字
12. 苦心してあれこれ考えること
13. 島根県と出雲市の木に指定されている樹木

● 協議会事務局お知らせとお願い ●

- ・ 住民協定加入者に異動があった場合は、速やかに協議会事務局へご連絡ください。
- ・ 築地松の剪定や防除対策を実施した時は、速やかに助成金の申請をしてください。伐倒の助成金申請は黒松の補植を確約する書面(確約書)の添付が必要です。伐倒の際に松苗の補植をされた場合は不要です。
- ・ 協議会では、平成28年度も抵抗性黒松の苗の無料配付を実施する予定です。松の補植が必要な方は配付時期の前に希望調査を行いますのでご申請ください。

平成27年度の主な事業概要

ボランティアガイド (築地松案内人)



瀬崎勝正さん



稲田輝夫さん

協議会では、瀬崎勝正さん(斐川町)と稲田輝夫さん(灘分町)の2名にボランティアガイドをお願いしています。

今年度も9組(約70人)の方がガイドのもとを訪れました。遠方からの来訪者も多く、築地松の基礎的な情報や歴史について分かりやすく解説していただいています。

ボランティアガイドをお申込みの方は、協議会事務局までご連絡ください。

電話：0853-21-6176

松くい虫防除 対策研修会



平成27年10月17日(土)に鳥根県中山間地域研究センターから舟木研究員と陶山研究員を講師に招いて、「松くい虫防除対策研修会」を実施しました。

松くい虫のことだけでなく、庭松に多い葉枯れ病との違いなどの説明があり、防除方法について正しい対処方法を知ってもらうことができました。受講者からの活発な質疑もあり、あっという間に終了時間となりました。

築地松景観 ライトアップイベント



協議会では、築地松を積極的にPRし、保全意識の向上、豊かな自然と調和する景観や歴史を活用した観光資源の価値を高めようと、平成27年11月21日(土)～22日(日)の2日間、斐川町黒目松江分の特設会場において、築地松ライトアップイベントを行いました。

遠くは兵庫県からの来場もあり、幻想的な築地松の佇まいを褒めていただき、訪れた皆さまを魅了しました。また、地元自治会の皆さまにも好評でした。

松苗の無料配付



平成28年2月4日(木)～5日(金)に築地松の補植用として、希望者に松苗を無料配付しました。

配付した松苗は松くい虫抵抗性松「くにびき松」で通常の黒松より松くい虫に強いものです。

(注意)

「くにびき松」は、ほかの松より抵抗性がありますが、松くい虫によって枯れない松ではありません。枯らさないためには、防除対策をしっかり行う必要があります。

築地松景観保全住民協定の認定状況(平成28年2月末時点)

○住民協定数	一般協定	73協定	特定協定	85協定	合計	158協定
○協定加入者	一般協定	1,118人	特定協定	2,202人	合計	3,320人

築地松景観保全対策推進協議会